



TITLE:

表紙・その他

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・その他. 物理化学の進歩 1939, 13(2)

ISSUE DATE:

1939-04-30

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/46175>

RIGHT:

第十三巻

第二報

物理化学の進歩

編輯主幹 堀場 信吉 (京都) 鮫島實三郎 (東京)

目 次

原 報(歐文)

- 配位原子價説の擴張(第二報)炭素化合物の立體構造……………槌田 龍太郎… 31
還元ニツケルによる窒素吸着……………飯島 俊一郎… 42

吾國に於ける物理化学研究の抄録(歐文)…………… 49

紹 介

- 電氣的二重層及びイオン吸着……………水 渡 英 二… 45
ゾルゲル變化……………山 北 逸 郎… 64

抄 録

11. 第二種衝突による聲の勵起 (81) 12. 溶液反應の衝突因子 (81) 13. 電解質の解離平衡の動力學的解釋 (82) 14. 酸素水素氣中の焰の傳播 (83) 15. 酸素水素反應の作用に依る活性化パラジウム表面の生成 (84) 16. 水酸化金のアルカリ溶液中の溶解度並に飽和溶液中の平衡に就て (84) 17. 膠質及二相系に及ぼす可聴音及超音波の作用の比較 (85) 18. アルカリ溶液中に於ける金ゾルの生成 (86)

記 事…………… 86

日本物理化学研究會刊行

京都帝國大學理學部物理化学研究室內

日本物理化学研究會役員 (順序不同)

會 長	大 幸 勇 吉				
顧問	藤 井 策 三 郎				
商 議 員	荒 勝 文 策	千 谷 利 三	花 島 孝 一	波 多 野 貞 夫	
(ABC順)	堀 場 信 吉	堀 内 壽 郎	市 川 禎 治	飯 盛 里 安	
	城 野 和 三 郎	片 山 正 夫	菊 地 正 士	木 村 正 路	
	喜 多 源 逸	松 野 吉 松	松 岡 俣 躬	仁 田 勇 郎	
	鮫 島 實 三 郎	佐 々 木 申 二	四 手 井 次 太 郎	田 丸 節 郎	
	富 永 齊				
理 事 長	羽 田 亨				
常務理事	堀 場 信 吉				
理 事	松 井 元 興	片 山 正 夫	喜 多 源 逸	仁 田 勇 郎	
監 事	中 村 恒 三 郎	入 江 巖	窪 川 眞 男	田 村 幹 雄	
主 事	松 山 秀 雄				

「物理化学の進歩」編輯役員

編 輯 主 幹	堀 場 信 吉	鮫 島 實 三 郎		
編 輯 幹 事	田 村 幹 雄			
編 輯 委 員	李 泰 圭	後 藤 康 平	森 原 茂 太 郎	
	久 米 泰 三	外 山 修	戸 川 治 之	



名譽會員並贊助會員 (昭和十四年四月現在, ABC順)

名譽會員

松 井 元 興 殿 日曹製鋼株式會社殿

個人贊助會員

江 副 孫 右 衛 門 殿	濱 口 富 三 郎 殿	蒲 田 政 次 郎 殿	龜 田 利 吉 郎 殿
木 俣 泰 清 殿	金 季 洙 殿	中 村 ユ キ 殿	清 水 侍 郎 殿
瀧 野 孫 二 殿	津 田 三 郎 殿	上 島 五 一 郎 殿	山 本 信 夫 殿
全 用 淳 殿			

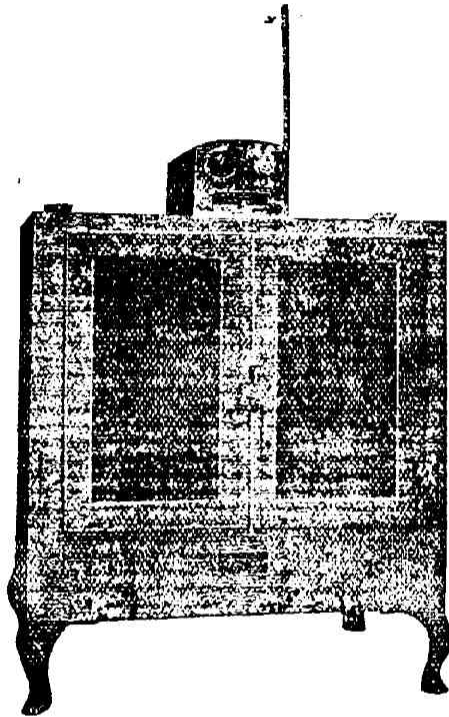
團體贊助會員

旭ベンベルグ絹絲株式會社殿	朝鮮窒素肥料株式會社殿	第一工業製藥株式會社殿
大日本染料株式會社殿	古河電氣工業株式會社殿	イソライト工業株式會社殿
川西機械製作所殿	川崎造船所殿	國産工業株式會社殿
コロイド製藥株式會社殿	九州曹達株式會社殿	滿洲電業株式會社殿
南滿洲鐵道株式會社殿	三菱電機株式會社殿	日本電池株式會社殿
日本板硝子株式會社殿	日本化學工業株式會社殿	日本光學工業株式會社殿
日本クロス工業株式會社殿	日本石油株式會社殿	日本製鍊株式會社殿
日本香料藥品株式會社殿	日本染料製造株式會社殿	日本曹達株式會社殿
日本水素工業株式會社殿	岡田電氣商會殿	オリエンタル寫眞工業株式會社殿
大阪窯業セメント株式會社殿	ラサ工業株式會社殿	堺化學工業株式會社殿
島津製作所殿	新興化學研究所殿	鹽野香料株式會社殿
白石工業株式會社殿	住友電線製造所殿	高砂香料株式會社殿
東邦瓦斯株式會社殿	東邦産業研究所殿	東海電機製造株式會社殿
東京電氣株式會社殿	わかもと本舖殿	



三四番型電気定温乾燥器

株式会社千野製作所御中
貴所電気定温乾燥器の型録を
御送り下さい。
御勤務先
御宛所
御芳名
(ご 照 会)



最高温度
150°C.

扉の全面が硝子張で
ある爲内部の観察が
容易であります。

{本器以外に各種乾燥器が有り
ますから型録を御覧下さい。}

株式會社 千野製作所

本社 東京市板橋區板橋町三丁目 電話 大塚1629, 4149
板橋1131, 1153
關西出張所 大阪市東區北濱三丁目 電話 北濱(23)3068

昭和14年4月25日印刷
昭和14年4月30日發行

物理化学の進歩
第13巻 第2輯
(年6回刊行)

編輯兼發行所
印刷所

堀場 信吉
京都府立大學物理化学研究室
福井 松之助
京都市中京區錦町三條南
株式會社 似玉堂
京都市中京區錦町三條南

定價 60錢 (送料6錢)
購讀會員會費1年分3回(前金, 送料共)

發行所
購讀申込
發賣所

日本物理化学研究会
振替・京都6047番
岩波書店
東京市神田區一ツ橋二ノ三
丸善株式會社京都支店
京都市中京區三條東町

◇ 本誌に關する批評, 注意, 要求は京都帝國大學物理化学研究室内, 田村幹雄宛に願ひます。

THE REVIEW OF PHYSICAL CHEMISTRY OF JAPAN

Edited by
Prof. S. Horiba, (Kyoto) and Prof. J. Sameshima, (Tokyo).

Vol. XIII, No. 2

April, 1939

Contents

Originals

Ryutaro Tsuchida: Extended Co-ordination Theory of Valency. (II)
Configuration of Carbon Compounds..... 31

Shun-ichirô Iijima: On the Adsorption of Nitrogen on Reduced Nickel. 42

Abstracts of Physico-Chemical Literature in Japan..... 49

Reviews

Eiji Suito: Electric Double Layer and Ionic Adsorption. 45

Itsuro Yamakita: Sol-gel Transformation 64

Abstracts 81

Account 86

Published by

The Physico-Chemical Society of Japan

物理化学の進歩

—原報原稿募集—

- I 研究は本誌に掲載せらるゝ以前に、他の雑誌に發表せられざりしものたるを要す。但し綜合報告は此の限りにあらず。
- II 發表すべき研究は物理化学に關するものにして、1) 本會商議員の研究又はその責任ある紹介によるもの、2) 大學教授によりなされたるもの、或は、その指導によりなされたるものに限る。
- III 原稿に不備の個所ある場合は、掲載遅れ、又は掲載不能の事あり。
- IV 原稿は必ず京都帝國大學物理化学研究室内日本物理化学研究會雜誌編輯部宛送附のこと。到着日を以て受理の日と定む。
- V 原稿は必ず別に定めたる「原稿の書方」(必要の方には御申込み次第送附す)に従つて書かれたし。
- VI 別刷御希望の方は、豫めその部數を申出られたし。但し實費を申受く。

急 告

下記のバックナンバー定價にて買戻し致します (但し郵税は當方にて負擔)

物理化学の進歩 第十一卷 第一輯

「物理化学の進歩」購読會員規定假案

第一條 日本物理化学研究会ノ機關誌タル本誌ノ直接購讀者ヲ購読會員トス

第二條 本誌ハ隔月(偶數月末日)發行トシ下記内容ヲ有ス

(一) 原報又ハ論說 (二) 紹介又ハ講義 (三) 抄録

第三條 會費ハ年參圓トシ前納スルモノトス。途中申込者ハ申込ノ月ヨリ之ヲ納入スルモノトス

第四條 終身購読會費ハ金五拾圓トシ既納ノ會費ヲ包含セズ

第五條 既納ノ會費ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返却セズ

他ニ別冊トシテ物理化学文獻集(新着外國雜誌ヨリ拔率ス)ヲ毎月發行シ會費(年一圓)ニテ會員ニノミ頒布ス

本會ハ又吾國物理化学海外紹介ノ目的ヲ以テ別ニ年三回歐文號ヲ編纂シ本誌所載「原報」及ビ吾國ニ於ケル物理化学研究ノ抄録ヲ掲載ス(會費年二圓)

△ 會員希望者ハ氏名、雜誌送附先ヲ明記シ振替京都六〇四七番ヘ會費ヲ拂込マレタシ

購読會員會費領收

購読會費 自昭和十四年三月一日 至昭和十四年四月卅一日 (尊稱略 來着順)

石川朝邦	歸山亮	(以上十五年度分)	富田彰	吉田清	史一
村賢三	東北帝大理學部	杉田餘三	岩瀬慶三	安江政	一平
入新明	淺田太	中谷光	宗像英	長武	三郎
奇春一	永春井	三大明	藤正太	波邊恭	太郎
新嘉三	北川公	有山恭	田真吉	磯部太	夫
小平俊次	鳥海達	岡芳	越丈一郎	大市原	七雄
中西良雄	牧島久	荒原逸郎	多羅間公	鷺見恒	四郎
大庭景義	高井頼	日本電氣工	東村長	小杉野	榮二
樸照均	常盤敏	松浦新之	工藤安	一方井	卓雄
安東治	羽島憲	中野眞	旭電化	關津集	一六
與元龍	奥野源	近藤幸	渡邊口	飯島俊	一郎
龍太郎	渡橋本	米城孝	井磯坂	高橋治	男
鵜嵩男	岡崎篤	舟坂之	阪北工	(以上十四年度分)	
石井健三	北川光	竹第		梅津憲	
吉永高	新宮春				
村山高					
金澤高					

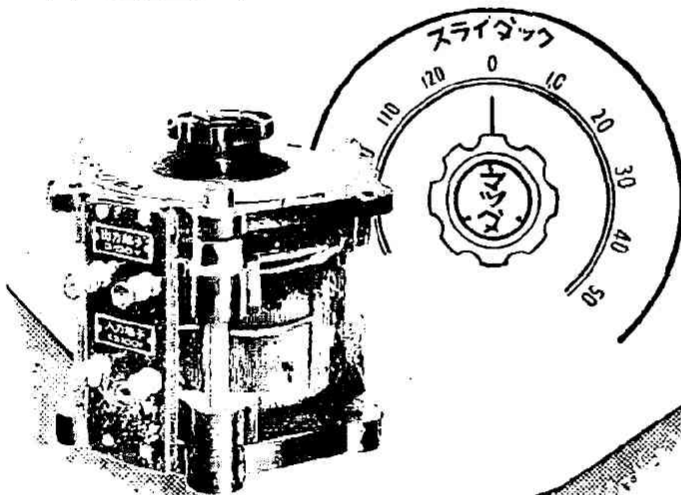
文獻集購読料金

立入明	淺田太	中岡原	明包	新宮春	男郎	春日井	佐太郎
北大公	川嘉三	同船越	芳一	部西良	郎雄	平牧東	文久
大多間	淺庭景	鷺見恒	榮二	本川朝	業邦	歸關石	集三
常野敏	浦新龍	杉野川	豐彦	日石邊	貞幸	高橋	健治
中野德	山中藤	池口篤	義	渡近吉	永	(以上十三年度)	
吹飯	近米	岡崎		梅津			
北川		第一					

スライダック マツダ電圧調整器

新発売

1キロワット スライダック

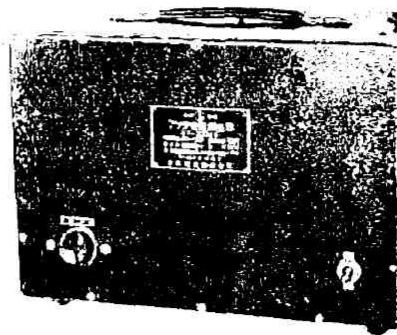


新発売

2A 電圧調整器

(ST-200A)

100V
80V 100V 120V



川崎市

東京電氣株式会社

觸媒化學講座 全七卷

豫約會員募集

◆熒煌燦として輝く本講座の意義と其使命◆

自然界に於ける多くの現象が、接觸反應に依て行はれて居ることは、動物の生活現象が觸媒の一種たる酵素の作用に基くことに依ても判る。斯の如き酵素の作用は各種の化學工業、例へば酒精、麥酒、清酒、葡萄酒、醬油等を總括する醸造工業より更に進では各種の有機酸、アセトン、高級アルコール、酸酢グリセリン等の化學工業に亘て應用されて居る。然るに吾人は今日酵素の本體並に作用理論に關して知る所が極めて少いのである。

更に接近に於ける多くの重要な化學反應が、觸媒の作用に依て工業化し得る條件に適合するに到つた合成アンモニア、合成メタノール、合成ガソリン、石炭液化、硬化油、合成脂肪酸の如き其例である。而して又殆ど凡ての化學工業に於ては、その工業の一部に觸媒の作用を利用すると云ふも過言ではない。石油工業、ゴム工業、香料工業、染料工業、塗料工業、脂肪酸工業、合成樹脂工業、硫酸工業、其他の無機藥品工業及び有機藥品工業等皆然りである。

斯の如き化學工業の轉々たる發達にも拘らず、其の基礎をなす所の觸媒の理論に關しては、極めて遅々たる進歩を見るのみである。近き將來に於ても觸媒の理論に頓着なく、化學工業上の觸媒の應用は、經驗及び實驗の結果に依り益々急進なる進展を続けるであらう。而して其後に於て結局は觸媒理論に導かれる所の化學工業の發展が来るであらう。

従て從來の數多き觸媒應用の現實の事實を網羅總括する事、並に是等を研究考査する事は、以上の經驗及び實驗に依て觸媒を工業的に應用する上にも、又觸媒の理論的研究の上にも共に缺く可らざる事である。此の意に於て本講座に貢獻する所頗る大なるものがあると思ふ。(東京帝國大學工學部應用化學科教室工學博士田中芳雄教授推薦文より)

◆堂々完璧を誇る觸媒化學全貌の闡明と理論的研究◆

監修		京都帝國大學博士 教授理學博士 東京帝國大學博士 教授理學博士	堀場 信吉 久保田勉之助	京都帝國大學博士 教授工學博士 東京帝國大學博士 教授工學博士	喜多 源逸 松井元太郎
第1卷	觸媒作用の理論	京都帝國大學博士 教授理學博士	堀場 信吉著	京都帝國大學博士 教授工學博士	堀場 信吉著
第2卷	有機化學に於ける觸媒反應 無機化學に於ける工業的諸問題	東京帝國大學博士 教授理學博士	久保田勉之助著	東京帝國大學博士 教授工學博士	久保田勉之助著
第3卷	硫酸製造法 アセチレン誘導體 有機酸化學製品	東京帝國大學博士 教授理學博士	松井元太郎著	東京帝國大學博士 教授工學博士	松井元太郎著
第4卷	アンモニア合成 メタノール合成 アルマニ酸	東京帝國大學博士 教授理學博士	柴田勝太郎著	東京帝國大學博士 教授工學博士	柴田勝太郎著
第5卷	合成石油 水性瓦斯 硬化油	東京帝國大學博士 教授理學博士	佐々木一雄著	東京帝國大學博士 教授工學博士	佐々木一雄著
第6卷	石炭液化 タール水素添加	東京帝國大學博士 教授理學博士	藤村建次著	東京帝國大學博士 教授工學博士	藤村建次著
追巻	酵素	京都帝國大學博士 教授理學博士	坂口謹一郎著	京都帝國大學博士 教授工學博士	坂口謹一郎著

の動向及應用化學工業發達の眞髓を衝く!!

◆御申込の要項◆

◇價格 各巻金3圓也
全7巻 21圓也

◇送料 内地14錢、
臺灣樺太34錢、朝鮮滿洲54錢。

◇申込方法 申込金はいりません。

即時最寄の書店、デパート又は直接發行所へ御申込下さい。直接發行所への御申込は振替にて會費と送料を添へて御申込下さい。

◇刊行期日 昭和13年3月より昭和13年9月迄7ヶ月完結、毎月1回1巻宛配本の豫定。

發行所

東京市神田區
小川町2の12

尚賢堂

電話神田 2264番
振替東京 58436番

御申込は最寄の書店
又は直接發行所へ!!

(第1巻及び第3巻
發賣中)

御申越次第
内容見本謹呈

月刊 自然科学雑誌

科學

編輯

安藤廣太郎 岡田武松 柴田桂太 大河内正敏 小泉 丹
柴田雄次 橋田邦彦 坪井誠太郎 仁科芳雄 主任 石原 純

4 月 増 刊 號 内 容

特 輯 支那に関する自然科学的研究

論 述

山階芳賢：支那の鳥類
富田 達：北支那の岩石
細井輝彦：支那の經昆蟲疾患
木村康一：支那の民間藥

拔 萃

L. PAULING：化學結合の本性と分子の構造に對する量子力學的共鳴の意義 (I)

科學雜纂

物故科學者小傳 (1938)

科學時事

◇本號に限り 定價30錢 送料1錢◇

5 月 號 内 容 要 目

卷 頭

入學志望者不足の問題

害 害

速い中性子の彈性散亂 (彦坂忠義)。水溶液に於けるイオンの Faraday 效果 (岡崎篤義)。稀有瓦斯元素の Faraday 效果 (岡崎篤義)。恒星及び星雲の質量及び數に就て (小河原 由)。湖沼學に於ける誤差の問題 (II) (今村學郎)。潜塊に就て (今村學郎)。は昔の合成について (兼當清佐・宮内玉子)。日本の花の色 (篠原長之)。朝鮮の *Pseudocrangonyx* (佐藤月二)。

拔 萃

L. PAULING：化學結合の本性と分子の構造に對する量子力學的共鳴の意義 (II)

論 述

湯川秀樹：Mesotron 問題の現状 (I) — 新粒子論續編 —

學界展望

志賀 直：蛋白質の構造 (II)

科學雜纂

高橋敬三：南洋パラオ諸島の動物雜記

術語檢討

Warping の譯語 (今村學郎)

新刊書—研究抄録—科學時事—學會及個人消息

發行所 東京市神田區 岩波書店
一ツ橋二ノ三

定價 50 錢 (送料1.5錢)

半年分 ¥3.00, 一年分 ¥5.90 (増刊號, 送料共)

電話九段(33) 50187(4)

振替口座東京 26240

明治-大正-昭和の聖代に亘る化學的文献の調査 に必要な鍵は茲に全く完成す

財團法人 日本化學研究會 編纂

日本化學總覽

新

第一集 第七卷 [大正14—15年の文献を収載す]

主幹 理學博士 眞島 利行

刊

體裁 四六倍版・8ポイント密植・芹皮天金 内容 本文586頁・索引203頁
定價 金拾貳圓五拾錢 送料 金四拾五錢 (内地)

新

刊

日本化學總覽は大正七年その編纂に着手せるにより約20年、啓明會、日本學術振興會其他各方面の援助を仰ぎ、今般漸く第七卷の刊行を了し、茲に明治-大正の化學的文献の抄録を完成せり。本邦に於ける一般化學の研究は勿論、化學工業・醫學・農學・藥學等に亘る廣汎なる研究の眞摯なる報告、特許等はその要粹を抄録して集載せり。故に我國の化學及び關係學術の大勢は一目瞭然たるものあり。化學的文献の探索竝に研究の進捗は本書により愈々能率的となるべく、化學に關係ある官衙、學校、會社、試験所は勿論、研究者、技術家諸賢は備へて以て自國の進歩を知ると共に、本邦特有の物資の研究利用に資せられ遺漏なからん事を勸奨す。

既刊出版物

日本化學總覽 第一集 [明治・大正年間の化學的文献集録]
第一卷 [明治10—13]・第二卷 [明治14—17]・第三卷 [明治18—21]
第四卷 [大正1—4]・第五卷 [大正5—8]・第六卷 [大正9—12]
日本化學總覽 第二集 [昭和以後の化學的文献を集録す]
第一卷 [昭和1—3]・第二卷 [昭和4—6]・第三卷 [昭和7—9]
第四卷 [昭和10—12]・第五卷 [昭和13—15]・第六卷 [昭和16—18]
第七卷 [昭和19—21]・第八卷 [昭和22—24]・第九卷 [昭和25—27]
第十卷 [昭和28—30]・第十一卷 [昭和31—33] × × ×

内容見本進呈

以上各卷 定價 ¥ 12.50 送料 ¥ 0.45

財團法人

日本化學研究會

仙臺市米ヶ袋上丁拾番地
振替仙臺8158・電話仙臺3924

日本化学會編纂發行

改訂

化学語彙

定價三圓五十錢

送料十四錢

英獨佛和對譯

菊版特製箱入
紙數二百八十餘頁

内容見本

215

センキ-センリ

新

版

SOL-SPE

センキンゾク 賤金屬 base-metal, Unedelmetall (n), métal commun (m)

センコウ 選礦 ore dressing, Erzbehacken (n), dressement des minerais (m)

センコウキ 旋光器 polariscope, Polariskop (n), polariscope (m)

センコウケイ 旋光計 polarimeter, Polarimeter (n), polarimètre (m)

センコウケイ 泉効計 127

センコウセイ 旋光性
optique (f)センコウノウ 旋光能
rotatoire (m)センコウブンサン 旋光
dispersion rotセンコウブンセキ 旋光;
(f), analyseセンシバイヨウ 麥刺
pigûre (f)

センシュツ 煎出 deco

センショウセキ 尖晶石
solvate (m) } 溶媒和物センショクタイ 染色體
solvation } 溶媒和センショクダン 淺色團
solvent 溶媒Spalten (n) 分割 [ラセ:化合物の]
Spaltung (f) 劈開 [結晶の]; 開裂 [有機化合物の]

Spannung (f) 張力

Spannungstheorie (f) 張力説

sparking potential 發閃電位

spark spectrum 火花スペクトル

Spateisenstein (m) 菱鐵鐵

Spatel (m)

spatula } 匙

spatule (f) }

昭和八年發行の増訂第五版化学語彙は三年を出でずして賣り盡され昭和十一年末には更に版を新にするの餘儀なきに至つた。是に於て本會は二十餘名よりなる化学語彙改訂委員を組織し、委員は今次新訂の方針として之を誤植訂正の如き姑息なる處置に止めず、斷然全語彙の再檢討を行ひ、根本的新版として之を江湖に問はんとした。爾來滿二ヶ年間全員殆んど新書を編むの努力を以て事に従ひ茲に漸く本改訂版上梓の運びとなつた。

素と本書の發刊は其因頗る舊く爲めに現今本邦學會に行はれつゝある化学術語邦譯の大部分は其範を本語彙に採つたものであることは既に天下周知の事實であるが、今日の改訂に際してはその採録譯語にして其後廣く學會に行はるゝ譯語と馳背するもの、及び新採の術語の邦譯に就ては委員間の慎重審議によつて最も妥當なりと認めらるゝものを採録した。又今回歐和之部の配列法を改め英獨佛及び和の何れよりもの檢索を更に明確ならしめた。

是を以て本書の内容は益々完璧を示すに至つた。凡そ化学に關係ある大方諸彦の必携書として其の一本を座右に備へられんことを敢てお薦めする。

日本化学會

發賣所

東京市日本橋區大傳馬町一丁目

東京市日本橋區通二丁目

内田老鶴圃

丸善株式會社

振替東京二一四六番 電話茅場町五五九一番

振替東京五番 電話日本橋二一四六番

主 筆 工學博士 喜 多 源 逸

月 刊 化 學 評 論

一冊 60 錢
(送料2錢)

前金 一年6冊
(送料共)

第 5 卷 第 3 號

- | | |
|--|---------------|
| [157] ケトン・アルデヒド樹脂..... | 松 井 悦 造 |
| [158] ヴィニル樹脂に關する最近の研究 (II)..... | 工 學 士 山 川 正 盛 |
| [159] アスコルビン酸 (Vitamin C) 酸化の科學 (II) Dr. Phylosophy... | 篠 原 龜 之 輔 |
| [160] 二酸化セレンの有機化合物に對する作用..... | 工 學 士 平 山 晋 一 |
| 時報、化學工業より見たる朝鮮 (承前) | 朝 倉 昇 |

第 5 卷 第 4 號

- | | |
|--------------------------------------|----------------|
| [161] 萜烯..... | 理學博士 小 竹 無 二 雄 |
| [162] 高オクタン價航空燃料の製造..... | 村 川 義 夫 |
| [163] Dien 合成に關する K. Alder の研究 | 工學博士 小 川 良 平 |
| [164] 炭化水素の酸化による脂肪酸の製造..... | 紀 喜 一 郎 |

化 學 評 論 社

編 輯 所

京 都 市 吉 田 京 都 帝 國 大 學
工 業 化 學 教 室 喜 多 研 究 室
電 話 上 九 八 〇 番 (學 內 十 九 番)

發 行 所

大 阪 市 西 區 京 町 堀 通 一 丁 目
電 話 土 佐 堀 二 四 〇・四 六 八 番
振 替 口 座 大 阪 一 七 六 一 三 番

物理化学の進歩歐文號 ◆年3回發行

THE REVIEW OF PHYSICAL
CHEMISTRY OF JAPAN

本誌は吾國に於ける物理化学の研究を廣く世界に紹介する目的を以て各國の著名なる大學、研究所、學者に頒布す(1000部發行)。本誌の内容は、原報及び抄録の二に分れ、原報は「物理化学の進歩」掲載論文を集め、抄録は1937年以降の吾國に於ける物理化学關係の報文全部に對し、その英文抄録を網羅せるものなり。

定價 1 部 80 錢 (送料 6 錢) 年 2 圓 (送料共) 海外年 3 弗 (送料共)

多年の経験と最新設備の
完備せる印刷所を御利用下さい

京都市柳馬場三條

株式會社似玉堂

(京都官報販賣所)

營業科目

各種出版物印刷
和洋帳簿製造
活版、石版印刷
オフセット印刷
三色版印刷
コロタイプ印刷

電話本局

長四二二番
四二二番
四五〇番
五〇一番

振替口座

大坂二五八番
東京三三〇番
京都一一五番

電信略語

(ジ)

マツダタンガーバルブ (水銀入)

特長

逆耐電圧が高い
整流作用確實
寿命が永い
効率優秀



2A



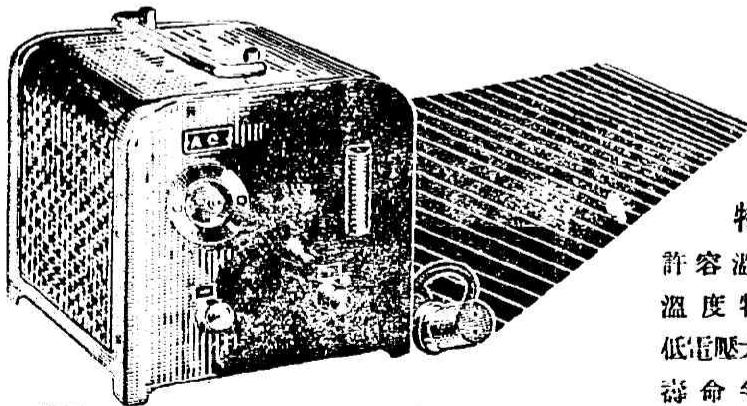
6A



30A



マツダセレン整流器



(カタログ進呈)

特長

許容温度上昇大
温度特性良好
低電圧大電流に好適
寿命半永久的
効率優秀

川崎市 東京電氣株式会社